

子育て王国めぐり

ファミリーサポートセンター



経験豊富なサポーターが子どもを預かります



チュッピー子育て
ほっとメール

kosodate@city.soja.okayama.jp

子育ての相談をしたくても時間がとれない人、窓口で相談しにくい人の悩みに、チュッピーと職員・保健師が答えます。



問い合わせ こども課子育て支援係 (☎ 0866-92-8268)

ファミリーサポートセンターでは、子育ての手助けがほしいときなどに、子どもの預かり・送迎を援助しています。会員制のため、事前登録が必要です。

- ▼一時サポート
希望する時間帯・場所で子どもを預かります。総社ふれあいセンター内で預かることもできます。また、ご自宅に訪問し、沐浴など子育ての手助けもできます。
- ▼病児サポート
子どもが病気の場合に預かります。サポートドクター・協力医院と連携しています。
※事前に医師の診察を受け、相談してください
- ▼同行サポート
保育園・幼稚園・放課後児童クラブ・習い事などへ送迎します。
問い合わせ NPO 法人保育サポート「あい・あい」 (☎ 0866-94-5665)

インタビュー Interview

日常の中で「木」を使い 災害に備えるまちづくりを 輝いている人



受賞作品「ふだん木のまち」



※インタビューは、畠和宏さん(写真左)、小林弘樹さん(写真右)に協力していただきました

キュービクル・最低限のシエルター空間国際コンペで最優秀賞を受賞した

仙台市を拠点に防災・災害復興支援事業を行う一般社団法人ヒトレンが開催したキュービクル・最低限のシエルター空間国際コンペ。53の国と地域から115作品の応募があった中で最優秀賞を受賞したのが、岡山県立大学デザイン学部建築学科・畠和宏助教のチームだ。畠さんと大学院2回生の小林弘樹さん・田中智さん、畠研究室卒業生の河田達希さんと結成された。

同コンペのテーマは、避難所生活環境の改善。幅・奥行き・高さ2メートル、3万円以内で製作可能な仮設シエルターの提案が求められた。受賞作品は、「ふだん木のまち」と題した避難所の間仕切りなど多用途に使える木組みユニット。柵やベンチ、屋台などとして日常生活の中で利用でき、組み替えることで非常時の

キュービクル・最低限のシエルター空間国際コンペで最優秀賞を受賞した

仙台市を拠点に防災・災害復興支援事業を行う一般社団法人ヒトレンが開催したキュービクル・最低限のシエルター空間国際コンペ。53の国と地域から115作品の応募があった中で最優秀賞を受賞したのが、岡山県立大学デザイン学部建築学科・畠和宏助教のチームだ。畠さんと大学院2回生の小林弘樹さん・田中智さん、畠研究室卒業生の河田達希さんと結成された。

同コンペのテーマは、避難所生活環境の改善。幅・奥行き・高さ2メートル、3万円以内で製作可能な仮設シエルターの提案が求められた。受賞作品は、「ふだん木のまち」と題した避難所の間仕切りなど多用途に使える木組みユニット。柵やベンチ、屋台などとして日常生活の中で利用でき、組み替えることで非常時の

畠研究室では、既にこの提案を発展させたプロジェクトが進行しているそう。日常でも使えるものをという思いが込められた受賞作品が、今後さまざまな場面で活用されることを期待したい。

学校給食 おすすめレシピ



- 材料(4人分)
●鶏もも肉…200g ●ニンニク…1かけ
●サラダ油…大さじ1
●調味液…マーマレード=大さじ2
赤ワイン=大さじ2 しょうゆ=大さじ1
- 作り方
①ニンニクをすりおろす。
②①と調味液を混ぜ合わせ、鶏もも肉を30分漬ける。
③鶏もも肉を取り出し、フライパンにサラダ油をひいて焼く。
- その他の献立 パン、牛乳、カラフルレモンマリネ、コーンスープ